



### 植物検疫実施細則の一部改正 / 農林水産省

4月30日付で「マレーシア産マンゴウの生果実に関する植物検疫実施細則」及び「トルコ産グレープフルーツ及びレモンの生果実に関する植物検疫実施細則」の一部が改正されました。主な改正内容は、両方ともこん包に表示する輸出植物検疫終了の表示の変更です。なお、詳細については、以下の植物防疫所ホームページをご覧ください。

マレーシア産マンゴウの生果実に関する植物検疫実施細則

[http://www.pps.go.jp/law\\_active/Notification/basis/9/216/html/216.html](http://www.pps.go.jp/law_active/Notification/basis/9/216/html/216.html)

トルコ産グレープフルーツ及びレモンの生果実に関する植物検疫実施細則

[http://www.pps.go.jp/law\\_active/Notification/basis/9/241/html/241.html](http://www.pps.go.jp/law_active/Notification/basis/9/241/html/241.html)

### 生鮮果実の輸入動向 / 日青協

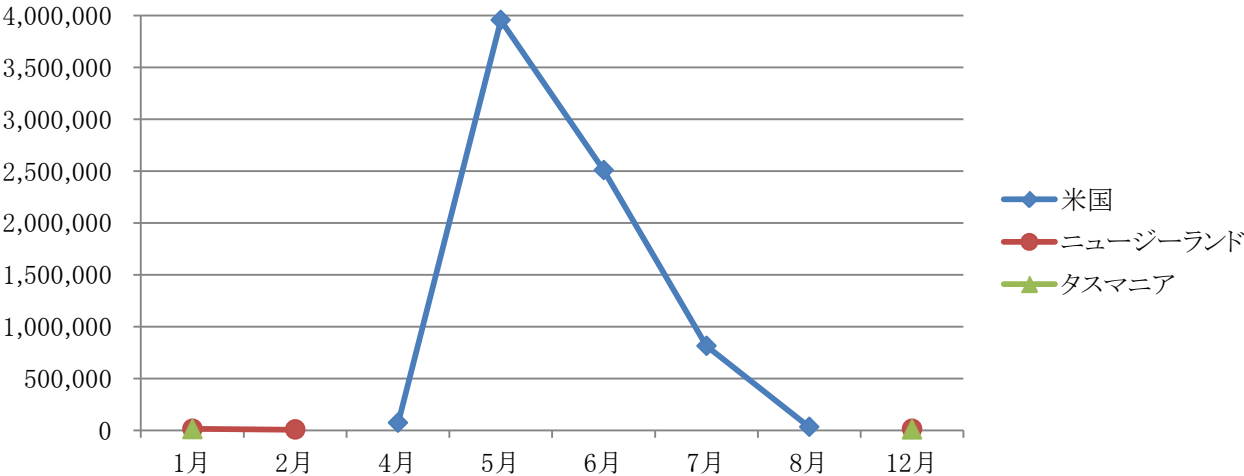
#### サクランボの輸入検査数量(2013年)

資料 植物検疫統計

年間:7,419t

単位 kg

	1月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	12月
米国			70,109	3,953,440	2,507,100	812,052	30,891	
ニュージーランド	13,425	4,940						11,929
タスマニア	8,064							6,924

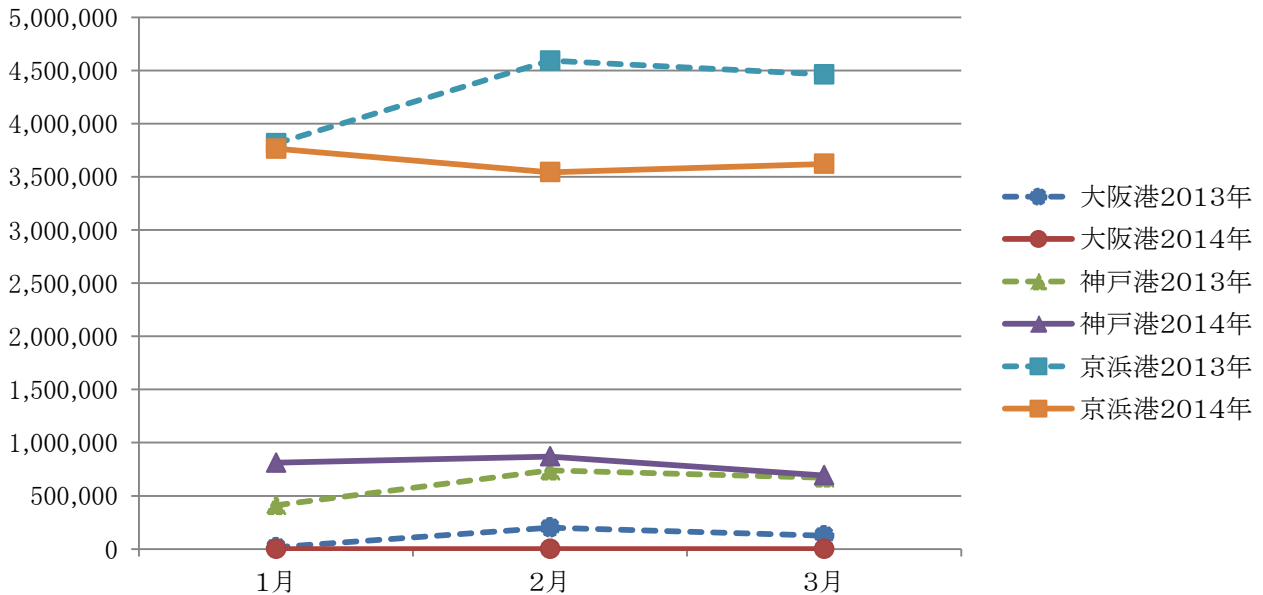


## メキシコ産アボカドの輸入港別輸入量(空港の輸入検査数量は省略)

資料: 植物検疫統計

単位 kg

	大阪港		神戸港		京浜港	
	2013年	2014年	2013年	2014年	2013年	2014年
1月	16,776	0	411,910	810,559	3,814,493	3,764,870
2月	201,815	0	738,027	869,862	4,592,863	3,543,897
3月	125,868	0	671,096	692,478	4,463,210	3,620,841
1-3月合計	344,459	0	1,821,033	2,372,899	12,870,566	10,929,608

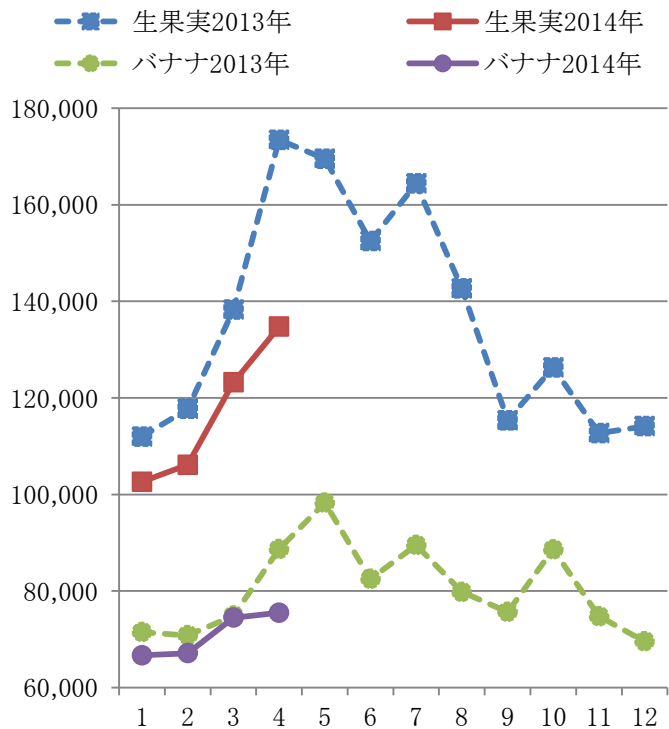


## 生果実とバナナの月別輸入量

資料: 植物検疫統計

単位 t

月	生果実検査数量		バナナ (キャベンデッシュ)	
	2013年	2014年	2013年	2014年
1	111,945	102,625	71,476	66,672
2	117,710	106,135	70,838	67,115
3	138,257	123,188	74,861	74,457
4	173,399	134,723	88,703	75,502
5	169,499		98,304	
6	152,419		82,487	
7	164,376		89,533	
8	142,663		79,818	
9	115,344		75,677	
10	126,270		88,638	
11	112,677		74,786	
12	114,128		69,551	
計	1,638,688		964,673	



## オーストラリア産ブドウの輸入数量(4月)

オーストラリア産ブドウについては、低温処理で輸入が解禁となり、4月中旬に第1船分が輸入され4月の輸入状況を植物検疫統計から整理した。

年	月	植物	生産国	検査件数	検査数量
2014	4	ブドウ	オーストラリア	7	129,264
			チリ	130	3,821,705
			ニュージーランド	3	576
			合計	140	3,951,545

資料 植物検疫統計

## 南アの輸出ミッションが来訪 / 日青協

南アの青果実輸出者フォーラム一行が5月12日に来日し、15日までの予定で日本の青果実マーケットの実情を調査した。その調査の一環で、13日に太田市場を見学したあと、日青協本部会議室で、会員との意見交換を実施した。

意見交換はフォーラム一行の Anton Kruger 会長他3名、南ア大使館のディンギレ参事官他1名及び日青協辻川シトラスその他果実部会長他5名、日青協太田専務理事他3名が参加して行われた。まず、南ア側から来日の趣旨と南アのカンキツ類の生産・輸出状況や出荷シーズンなどについて説明があり、その後日青協から日本の青果実の生産と輸入動向(1985年以降)、南アが解禁要請しているアボカドなどの月別輸入動向について説明した。その後の意見交換では、解禁促進に係る日青協の役割や日本向けに有望なくだものなどについて意見交換が行われた。

